



YUASA REPORT

第137期

2015年4月1日から
2016年3月31日まで

137

Contents

- 1 ユアサ商事グループのビジネスフィールド
- 3 株主の皆さまへ
- 5 セグメント別の概況
- 6 決算ハイライト
- 7 中期経営計画「YUASA LEGACY 350」について
- 11 Growing Together ～ともに挑むイノベーション～
- 13 主要連結財務データ
- 14 会社概要／株式情報

機械と住宅の専門商社として「産業とくらし」の発展に貢献してまいりましたユアサ商事は、おかげさまで創業350周年を迎えることができました。「海外」「環境エネルギー」「国土強靱化」を成長市場と捉え、日本からアジアへ「産業とくらし」の発展を目指し、事業を展開してまいります。

産業機器部門

「モノづくり」を独自のIT&ロジスティクス・ネットワークで支えます。



日本の「モノづくり」を側面から支える切削工具・制御機器・測定機器、マテハン機器を、全国に広がるIT&ロジスティクス・ネットワークによりスピーディーに供給いたします。

住設・管材・空調部門

エコエンジニアリング機能の発揮によりスマート社会を実現します。



独自のエコエンジニアリング機能をベースに創エネ機器、住設・管材機器、空調機器をトータルに提供いたします。

工業機械部門

最先端技術で世界の「モノづくり」を支えます。



工作機械業界のマーケット・リーダーとして、国内トップメーカーの機械設備に独自のエンジニアリング機能を付加し、世界の「モノづくり」を支えてまいります。

エネルギー部門

スマート&BCP低炭素社会時代に相応しいエネルギーの安定供給を実現します。



エネルギーの安定供給を命題に、各種産業用燃料、船舶用燃料、民生用燃料の販売を行うとともに、スマート社会実現に向けた提案を行っております。

その他部門 (消費財・木材)

ライフスタイルや産業の多様化に合わせ、新しい産業とくらしのカたちをご提案します。

ライフスタイルや産業の変化による製品ニーズの多様化に柔軟に対応し、季節家電や生活・調理家電等の消費財の開発・輸入・販売、木材・製材品の輸入・販売を通じて、新しいくらしのカたちを創出いたします。



建築・エクステリア部門

快適で強くしなやかな都市空間を創造します。



快適で強くしなやかな都市空間の創造に向け、ビルやマンション向けの建築資材や公園・道路・橋梁向けの景観・土木資材を積算から施工まで一貫してサポートいたします。

建設機械部門

時代が求める最新鋭の産業用レンタル商材を提案します。



道路舗装や土木工事に必要な産業機械・資材の提供と共に、時代が求める「高効率」「安全」「省力化」「環境保護」「BCP」の視点で産業用レンタル商材を提案いたします。

Growing Together

～ともに挑むイノベーション～

おかげさまで
350th



記念式典当日は約900社、約1,800名のお取引先様にご出席いただきました

2016年5月26日に創業350周年の記念式典を開催いたしました。創業350周年を機に、お取引先様とともに「産業とくらし」の未来に向けたイノベーション創造に挑戦してまいります。

詳細については P.11-12へ

産業機器部門

- 切削工具
- 制御機器
- 梱包・包装機器
- MRO
- 測定機器
- 伝導機器
- マテハン機器
- ユーティリティ機器
- 作業工具
- ロボット

工業機械部門

- 工作機械
- 成形加工機
- 鍛圧・板金機械
- ソフトウェア
- 鋼材加工機

住設・管材・空調部門

- 水廻り住設機器
- 冷暖房機器
- 給湯器
- 省エネコンサルティング
- バルブ
- ポンプ
- エネルギー管理システム
- 管・継手
- 照明
- 蓄電池

建築・エクステリア部門

- エクステリア
- 建築金物
- 土木道路資材
- 外構資材
- 土木道路資材
- 景観資材

建設機械部門

- 土木・建築・道路機械
- 建設小型機器
- 高所作業車
- 動力源
- 溶接機
- 建設小型機器
- 高所作業車
- 仮設ハウス

エネルギー部門

- 石油製品
- 民生用燃料
- 産業用燃料
- 船舶用燃料

その他部門

- 扇風機
- 加湿器
- 調理家電
- コタツ
- 木材製品

創業350周年 企業価値の永続的向上を 目指します

代表取締役社長 **佐藤悦郎**

2016年3月期 経営成績

売上高	442,042 百万円 前期比 0.1%増	➔
営業利益	10,357 百万円 前期比 5.5%増	↗
経常利益	11,039 百万円 前期比 6.6%増	↗
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,190 百万円 前期比 4.1%減	↘

中期経営計画「YUASA LEGACY 350」 の達成に向けて

当期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)は、中期経営計画「YUASA LEGACY 350」の2年目として、「グローバル強化」「国内成長分野の開拓」「プラットフォーム機能強化」に注力いたしました。

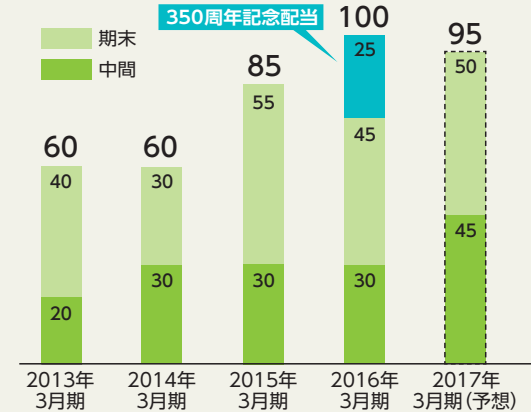
この結果、当期の売上高は4,420億42百万円

(前期比0.1%増)となりました。利益面につきましては、営業利益が103億57百万円(前期比5.5%増)、経常利益が110億39百万円(前期比6.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が71億90百万円(前期比4.1%減)となり、利益面の各指標は業績予想を全て上回るとともに、営業利益、経常利益は最高益を更新いたしました。

中期経営計画で掲げる経常利益100億円以上の常態化に向けては、初年度において経常利益



1株当たり配当金の推移 単位：円



※当社は、2014年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。上記のグラフは、2013年3月期に株式併合が行われたと仮定し、配当金の推移を表記しています。

103億円、当期において経常利益110億円を達成いたしました。

2016年3月期の配当につきましては、期末配当金について普通配当45円に創業350周年記念配当25円を加えた70円とし、年間の配当金を中間配当金30円と合わせて1株当たり100円とさせていただきます。今後も安定的・継続的な配当に努めてまいります。

主要経営指標につきましては、ROE(自己資本

当期純利益率)は13.2%となり目標値の13.4%の水準を維持しております。自己資本比率は28.0%となり、最終年度計画である25.0%を達成することができました。

成長3事業(海外・環境エネルギー・ 国土強靱化対応)で諸施策を実行

成長3事業 Pick up! の海外事業につきましては、2015年10月に米国3カ所目となる新拠点「サウスキャロライナ支店」を設立し、米国での工作機械販売体制を強化いたしました。環境エネルギー事業では、岐阜県瑞浪市と共同で検討しておりますスマートコミュニティ事業の開発に注力いたしました。また、戸建て住宅のネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化に向けたパッケージ提案をスタートさせております。国土強靱化対応事業では、「大規模地震対応模擬訓練」や「耐震診断・補強・改修工事の提案」を通じ、防災・減災・BCP(事業継続計画)に関するハードとソフトのワンストップでの提案営業を推進いたしました。

流通基盤の強化に向けて

流通基盤の強化に向けて、関東圏3カ所に分散しておりました物流拠点を、千葉県柏市に新設いたしました「ユアサ商事関東物流センター」に統合し、2016年5月より稼働いたしております。新物流センター Pick up! の活用により、ロジスティク機能の強化と効率化が図れると考えており、今後も流通基盤強化のための取組みを継続してまいります。

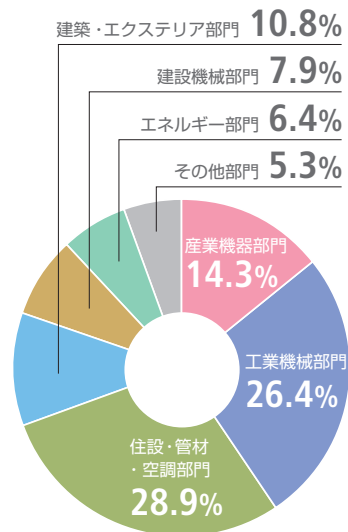
株主の皆さまにおかれましては、何卒相変わりがせぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Pick up!

- 成長3事業
詳しくはP.9~P.10に掲載。
- 新・関東物流センター
詳しくはP.8に掲載。

■ セグメント別の概況

■ セグメント別売上高構成比



建築・エクステリア部門

売上高 **477億20百万円** 前期比 0.8%減

- 都市部を中心に再開発需要などの民間投資の増加により、フェンスなどの景観エクステリアや物置・倉庫、建築金物の販売が堅調に推移。
- 公共投資減少の影響により土木・道路資材の需要が減少。

産業機器部門

売上高 **631億69百万円** 前期比 2.5%増

- 切削工具、制御・測定機器の販売に加え、コンプレッサーや発電機などの環境・省エネ機器、マテハン機器の販売に注力。
- ユアサ電子商取引を活用したEDI取引や品揃え強化による在庫売上が拡大。

工業機械部門

売上高 **1,167億47百万円** 前期比 9.9%増

- 国内では、企業収益の改善や各種補助金案件を確実に受注に結び付けることができ増収。
- 海外では、米国やメキシコでの事業拡大に注力したものの、中国や東南アジアの景気低迷の影響を受け減収。

住設・管材・空調部門

売上高 **1,279億1百万円** 前期比 0.1%増

- 新設住宅着工戸数やリフォーム需要が緩やかに回復するなか、キッチンやユニットバスなどの住設機器や空調機器、太陽光発電システムの販売に注力。
- 住設機器や管材・空調機器などの主力商品が増収となり太陽光発電システムの減収をカバー。

建設機械部門

売上高 **347億75百万円** 前期比 3.7%増

- 公共投資減少の影響を受け、第4四半期にかけ建機レンタル会社の機械稼働率が低下。
- 輸入販売権を持つ高所作業車の民間建築物向け販売や中古建設機械オークション事業が好調に推移。

エネルギー部門

売上高 **284億87百万円** 前期比 28.2%減

- 原油価格の大幅な下落が続き、販売価格も低水準で推移し厳しい販売状況が続いたことから減収。

その他部門

売上高 **232億41百万円** 前期比 6.0%減

- 消費財事業では、ECサイトでの販売強化に努めたものの、個人消費の伸び悩みに加え暖冬の影響により減収。
- 木材事業では、円安の影響により販売価格面で厳しい状況が続いたことから減収。

■ 決算ハイライト

Point

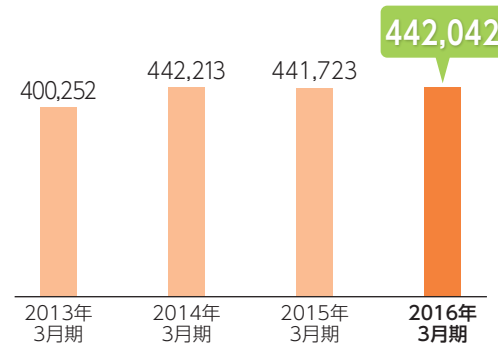
2016年3月期
決算のポイント

1 営業利益、経常利益は過去最高益。中期経営計画で目標に掲げる経常利益100億円以上の常態化に向け、初年度103億円に続き当期は110億円を達成。

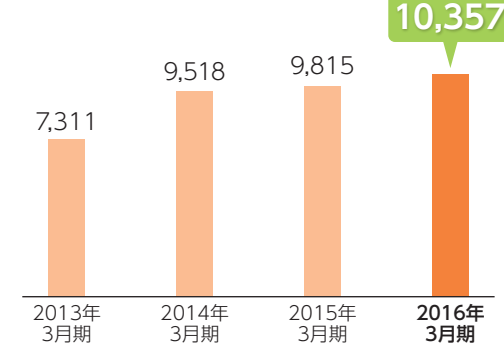
2 配当について、創業350周年記念配当1株当たり25円を加え、1株当たり年間配当金を100円に増配。(連結株主還元率30.6%)

3 中期経営計画で主要経営指標として掲げる自己資本比率は28.0%となり目標値の25.0%を上回る。ROE(自己資本当期純利益率)は13.2%となり目標値の13.4%の水準を維持。

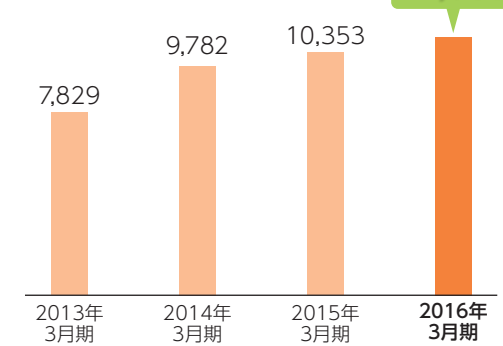
■ 売上高 [単位 百万円]



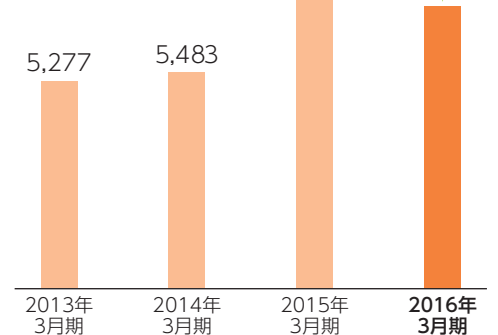
■ 営業利益 [単位 百万円]



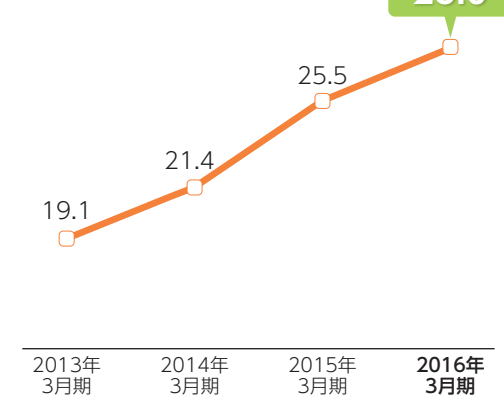
■ 経常利益 [単位 百万円]



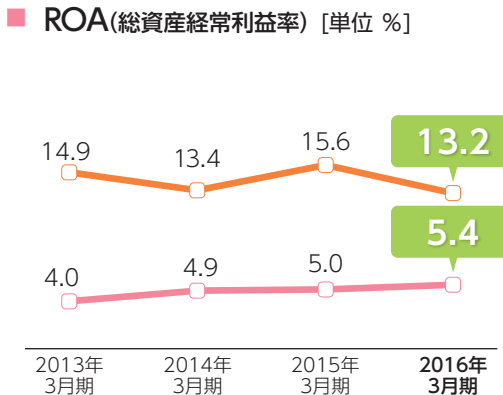
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 [単位 百万円]



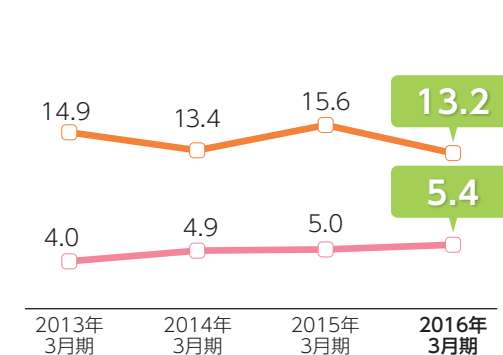
■ 自己資本比率 [単位 %]



■ ROE(自己資本当期純利益率) [単位 %]



■ ROA(総資産経常利益率) [単位 %]



※過去の実績は、会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値を記載しております。

「YUASA LEGACY 350」について

3つの軸を拡大し、アジア最大級の「産業とくらしの流通プラットフォーム」を構築。さらなる競争優位のポジションを確立すると同時に、連結経常利益100億円以上を常態化できる強固な経営基盤を確立いたします。

350年の歴史を「LEGACY(遺産) =次代の成長基盤」として引き継ぐ

2016年に創業350周年を迎えた当社が、創業以来築き上げてきた国内最大規模の「産業とくらしの流通プラットフォーム = LEGACY (遺産)」をアジア最大級にまで進化・拡大し、持続的な成長のための基盤を確立する3年間。



定量目標

	2015年 3月期実績	2016年 3月期実績	2017年 3月期計画
連結売上高	4,417億円	4,420億円	4,470億円
連結経常利益	103億円	110億円	113億円
連結経常利益率	2.34%	2.50%	2.53%
親会社株主に帰属する当期純利益	74億円	71億円	75億円

	2015年 3月期実績	2016年 3月期実績	2017年 3月期計画
ROE	15.6%	13.2%	13.0%
自己資本比率	25.5%	28.0%	30.0%
連結株主還元率	24.9%	30.6%	27.9%

経営基盤強化

情報力強化・拠点機能強化
人材力強化

プラットフォーム機能強化

ITインフラ整備と拠点機能強化、人材力強化による経営基盤整備により、「産業とくらしの流通プラットフォーム」の機能強化を図ります。

ポイント

- 1 納品リードタイムの短縮により、即日配送エリアが拡大！
- 2 納品状況を見える化。WEBより配送状況の確認が可能に。
- 3 物流拠点の集約化により当社ならではの多様な取扱商品群をワンストップでサポート。
- 4 商品をセンターで加工・組立をして発送！「加工物流機能」。

これまで特定の専用便のみに限られていた即日配送サービスの対象が専用便以外にも拡大されます。また即日配送エリアが拡大いたしました。

専用ホームページ(WEB貨物追跡サービス)よりリアルタイムに商品の配送状況が確認可能となります。

複数の物流拠点の統合により、工具からバルブまで専門性が高い商品群の集約化を実現。常時約10万点の商品を在庫しており即納が可能となります。

関東物流センターでは加工・組立機能も有しております。特定のメーカーにおける商品のセット出荷により、納品リードタイムの短縮が可能となります。



常時約10万点

- 産業機器
- 住設・管材・空調
- 建材
- 建機



新・関東物流センターが稼働

～多様な商品&機能を提供する流通プラットフォームへ～

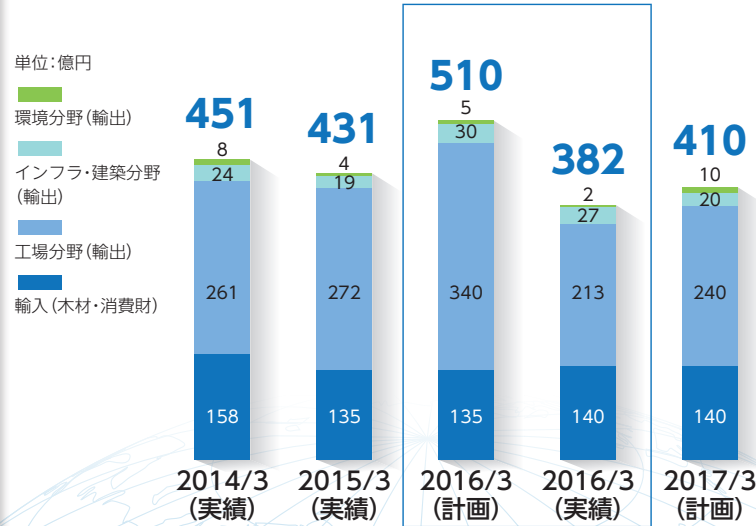
当社は、関東圏の3カ所に分散しておりました物流拠点を「ユアサ商事関東物流センター」(千葉県柏市)に統合し、2016年5月6日より業務を開始いたしました。多様な取扱商品を多様な機能とともに提供する「産業とくらしの流通プラットフォーム」として、お取引先様のお役にたてる物流サービスを展開いたします。



海外事業

商域の拡大

3つの分野(工場分野、環境分野、インフラ・建築分野)で海外事業を拡大します。



成長分野の業績指標

2017年3月期目標

施策・事業例

海外取扱高 **410億円**
海外取扱比率 **9.2%**

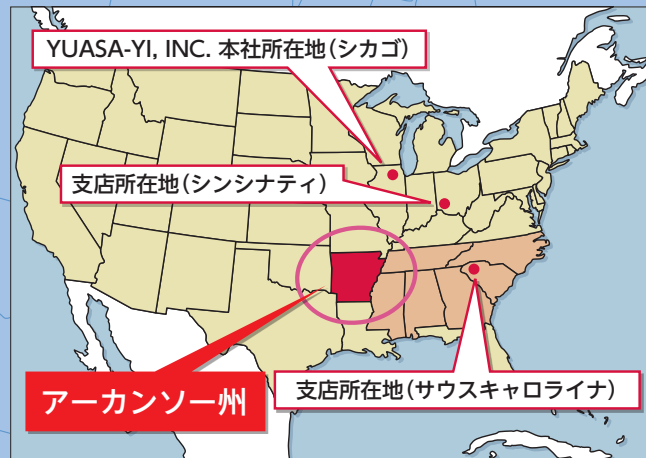
北米・中米・アジアでの**工作機械販売の拡大**

アジアでの**建設機械・環境機器販売の拡大**

強化ポイント

米国での販売体制を強化 アーカンソー州においてもマシニングセンターの独占販売権を取得

当社の米国現地法人「YUASA-YI, INC.」は、2016年4月にアーカンソー州におけるOKK株式会社の独占販売権を取得いたしました。2015年4月に取得した米国南東部6州を加え、米国内の計7州でのマシニングセンターの取扱いが可能となりました。新商権取得を機に、米国での生産財販売事業をさらに拡大してまいります。

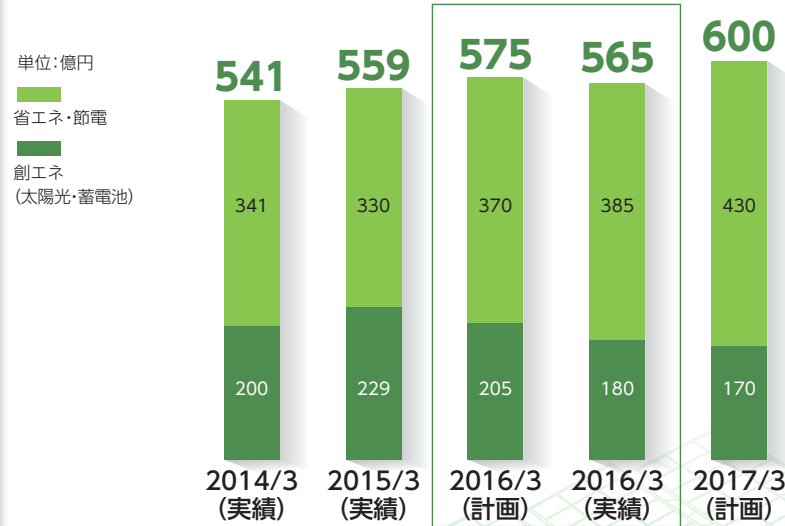


米国南東部7州においてマシニングセンターの販売体制を強化します

環境 エネルギー事業

商流の拡大

「**創エネ+蓄エネ+省エネ**」をコンセプトに、エンジニアリングの提案からメンテナンスまで一貫したサービスを提供します。



成長分野の業績指標

2017年3月期目標

施策・事業例

環境機器売上高

600億円

強化ポイント

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス パッケージ提案をスタート鹿児島

当社が創・蓄・省エネシステム等の提案を担当した店舗付住宅が、鹿児島県初となるネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(以下、ZEH)として経済産業省の認定を取得され、2016年3月に竣工いたしました。今回のノウハウをZEHパッケージ化し、今後全国のホームビルダー様や工務店様に展開してまいります。

※ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) 高断熱化や高効率な省エネルギー設備、太陽光発電などのギーと同等またはそれ以上のエネルギーを創り出す家。125万円の補助金が受けられます

創エネ(太陽光・蓄電池)販売の維持 節電・省エネ機器の販売(工場・建設)

ゼッチ(ZEH※) 県初となるZEH化を支援

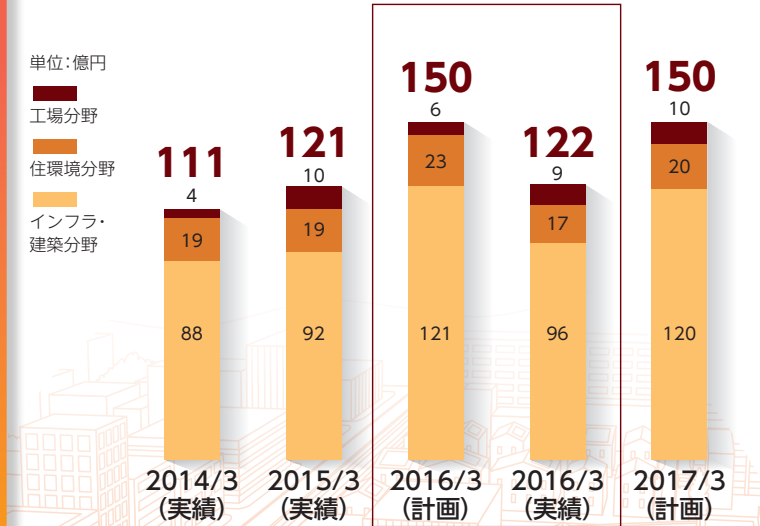


再生可能エネルギーの使用により、家庭で使用するエネルギー2016年度には経済産業省が認定したZEHでは定額で

国土強靱化 対応事業

商流の拡大

ハード(レジリエンス商品)とソフト(BCP支援、耐震化支援)の両輪により企業の防災・減災・BCP活動を支援します。



成長分野の業績指標

2017年3月期目標

施策・事業例

レジリエンス商品売上高

150億円

レジリエンス新商品の開発

BCP、耐震化提案(企業・自治体向け)

強化ポイント

「大規模地震対応模擬訓練」を実施

「災害対応に関する統合ソリューション事業」の一環として「大規模地震対応模擬訓練」(当社・株式会社富士通総研共催)を実施しております。2016年2月には当社の中部支社において、お取引先様20社以上による合同模擬訓練を開催いたしました。今後もBCPや防災・減災に必要な商材開発やノウハウの提供に注力してまいります。



創業350周年記念式典でご紹介したイノベーション
今後はお取引先様とともに「産業とくらし」の未来に

創造のための取組み方針を踏まえ、
向けたイノベーション創造に挑戦してまいります。

創業350周年記念式典を開催いたしました



2016年5月26日、ザ・プリンス パークタワー東京におきまして、
当社のお取引先様約900社(約1,800名)にご出席いただき、当社創
業350周年記念式典を開催いたしました。当日は、ご来賓・お取引先
様よりご祝辞をいただいた後、これまでのお取引先様との価値創造
の歴史と今後の展望をまとめた記念映像の上映、当社佐藤社長より
「未来を語る」をテーマにしたご挨拶をさせていただきました。式典
後は懇親会を開催し、お取引先様に対しこれまでの感謝をお伝えい
たしました。



記念映像を放映し当
社の歩みと今後の方
向性について共有さ
せていただきました



当日はお取引先様に加え、国会議員、金融機関、経済
諸団体様より多数のご出席を賜りました



佐藤社長からは「未来を語る」
をテーマに、イノベーション
創造のための取組み方針を踏
まえご挨拶をさせていただきました

産業分野 新事業

ロボットのセットアップや アフターサービスを専門に 請け負う体制を整備



産業用ロボットのセットアップには高度なエンジニアリング
機能が要求されます

ロボットやIoT(Internet of Things)は、今や「産業とくらし」の全領域での活
用が始まっております。当社はロボットのセットアップやアフターサービスを専
門に請け負う体制を整備いたします。当社グループを挙げてこのロボットやIoT
分野に注力してまいります。

医療・介護・生活支援分野 新商品

パワーアシストスーツの 取扱いを開始



医療・介護分野だけでなく物流倉庫など幅広い業界で注目さ
れるパワーアシストスーツ

当社は今年度より新たにパワーアシストスーツの取扱いを開始いたしました。
本提案は社内の「新事業提案制度」で一般職社員から提案があったものです。当
社において、医療・介護分野の取組みは始まったばかりですが、あらゆる社員
の叡智を結集し新事業を育成してまいります。

■ 主要連結財務データ

科 目	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年3月期 (通期計画)
経営成績(百万円)					
売上高	400,252	442,213	441,723	442,042	447,000
営業利益	7,311	9,518	9,815	10,357	10,500
経常利益	7,829	9,782	10,353	11,039	11,300
親会社株主に帰属する当期純利益	5,277	5,483	7,494	7,190	7,500
財務状況(百万円)					
総資産	196,740	205,669	204,897	202,891	—
純資産	38,614	45,146	52,684	57,307	—
キャッシュ・フロー(百万円)					
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,741	9,414	12,476	9,114	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,329	△880	3,550	△589	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,335	△11,790	△11,810	△8,982	—
現金及び現金同等物の期末残高	28,696	26,470	31,031	30,436	—
1株当たりデータ(円)※1					
1株当たり当期純利益	242.16	250.78	340.82	326.27	340.30
1株当たり純資産	1,725.64	2,010.64	2,369.99	2,573.88	—
1株当たり配当金(年間)	60	60	85	100	95
主要経営指標(%)					
ROA(総資産経常利益率)	4.0	4.9	5.0	5.4	—
ROE(自己資本当期純利益率)	14.9	13.4	15.6	13.2	13.0※2
自己資本比率	19.1	21.4	25.5	28.0	30.0※2
配当性向	24.8	23.9	24.9	30.6	27.9

※1 過去の実績は、会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値を記載しております。また、1株当たりデータは2013年3月期の期首に株式併合が行われたと仮定して表記しています。
 ※2 ROE、自己資本比率は中期経営計画最終年度である2017年3月期計画を表記しています。

■ 会社概要 / 株式情報

(2016年3月31日現在)

◇ 会社概要

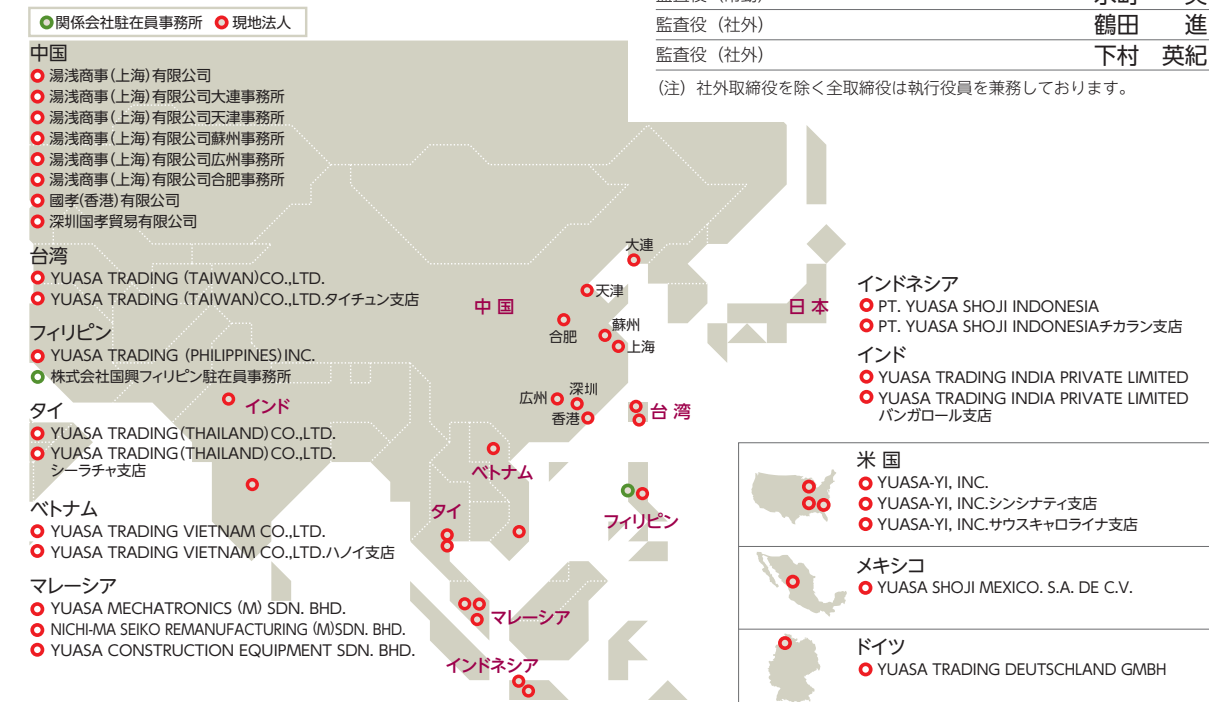
商 号 ユアサ商事株式会社
 YUASA TRADING CO.,LTD.
 本 社 東京都千代田区神田美土代町7番地
 創 業 1666年(寛文6年)3月
 設 立 1919年(大正8年)6月25日
 資 本 金 20,644百万円
 従業員数 1,672名(連結) 870名(単体)

◇ 取締役及び監査役 (2016年6月24日現在)

代表取締役社長	佐藤 悦郎
代表取締役専務取締役 経営管理部門統括 兼 地域グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長	澤村 和周
専務取締役 工業マーケット事業本部長 兼 海外事業推進担当 兼 (株)国興代表取締役会長	田村 博之
常務取締役 住環境マーケット事業本部長 兼 建設事業統括 兼 ユアサプライムス(株)代表取締役会長	白井 良一
取締役 経営管理部門副統括 兼 総務部長	佐野木晴生
取締役 東部住環境本部長	田中 謙一
取締役 工業マーケット事業本部副事業本部長 兼 (株)国興代表取締役社長	高知尾敏之
取締役 建設マーケット事業本部長	鈴木 道広
取締役(社外)	前田 新造
取締役(社外)	灰本 栄三
監査役(常勤)	宮崎 明夫
監査役(常勤)	水町 一実
監査役(社外)	鶴田 進
監査役(社外)	下村 英紀

(注) 社外取締役を除く全取締役は執行役員を兼務しております。

◇ グローバルネットワーク



◇ 株式の状況

発行可能株式総数…………… 40,000,000株
 発行済株式総数…………… 23,155,882株
 (自己株式1,116,217株を含む)
 株主数…………… 9,441名

◇ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,544	11.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	850	3.86
ユアサ炭協持株会	723	3.28
株式会社三井住友銀行	594	2.69
DMG森精機株式会社	584	2.65
西部ユアサやまざみ持株会	582	2.64
東部ユアサやまざみ持株会	574	2.60
ダイキン工業株式会社	452	2.05
ユアサ商事社員持株会	440	1.99
TOTO株式会社	408	1.85

1.千株未満は切り捨てて表示しております。
 2.持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
 3.当社は自己株式1,116千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 4.上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 2,544千株
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 850千株

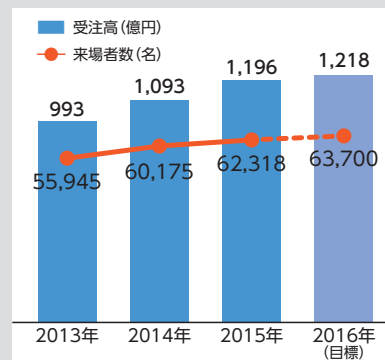
■ お知らせ

産業とくらしの グランドフェア2016

当社の販売先様の会である「やまずみ会」が主催し、仕入先様の会である「炭協会」が協賛で開催される展示会「グランドフェア」は、今年で39回目を迎えます。キャンペーンテーマを「Smart Power, Resilience Action スマート&レジリエンスがあたりまえになる社会へ」とし、全国5カ所で開催いたします。おかげさまをもちまして、受注高、ご来場者数ともに年々伸長を続けており、今年は5会場合計での受注高目標1,218億円、ご来場者数目標63,700名の達成を目指してまいります。



受注高と来場者数の推移



地域	日程	会場
関東	7月8日(金)～7月9日(土)	幕張メッセ(千葉県)
東北	7月22日(金)～7月23日(土)	夢メッセみやぎ(宮城県)
中部	9月2日(金)～9月3日(土)	ポートメッセなごや(愛知県)
九州	9月9日(金)～9月10日(土)	マリンメッセ福岡(福岡県)
関西	9月16日(金)～9月17日(土)	インテックス大阪(大阪府)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.yuasa.co.jp/ir/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。